

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

6

2023
JUNE
〈3/12〉

特集

絵本を通して考える
幼保小接続

0・1・2歳児の
保育のきほん
子どもを見る
まなざし③
～リフレクション～

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 2023
就学前施設の
虐待防止

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画
子どもの姿から
生まれる計画を
支える記録とは

Hoiku
navigation

巻頭

フリーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

脱・一斉指導へ。変革する小学校教育の動きから保育の原点を考える … 4

奈須正裕 (上智大学教授)

三谷大紀 (関東学院大学准教授)

特集

絵本を通して考える

幼保小接続

吉永安里 無藤隆

10

子どもたちが絵本を通して培った力や知識は、小学校の学習にどのようにつながるのでしょうか。幼児教育と小学校教育をつなぐカリキュラムや授業を展開する小学校を取材し、そこから見えてきた接続のポイントや課題を考えます。



主

はじめての、ICT活用術 … 24

秋田喜代美

主

3・4・5歳児遊びが育つ保育 … 26

保育者が提案する

クラス活動と遊び Part II

田代幸代

主

0・1・2歳児の保育のきほん … 30

保育者の育ち編

井桁容子

子どもへのGIFT 恩物の世界 … 32

和久洋三

園の動き

園

国の動きを読む！ 研究者の目2023 … 34

大方美香

園

地域別 持続可能な園になるために2023 … 36

特別編 編集委員会報告

『保育ナビ』が伝えたいこと

幼児教育・小学校教育の今を共有し、充実した架け橋期へ

今月是对談と特集で小学校教育について取り上げています。今年2月に文部科学省で幼児教育と小学校教育の接続についての審議がまとめられ、「架け橋期の教育の充実」や「幼児教育の特性に関する社会や小学校等との認識の共有」等の推進が強調されました。小誌でも小学校教育の現状や架け橋期の好事例を引き続き紹介していきます。円滑な接続に向け、さらに一步前へ！ — 『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』の使い方

読む



まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。

話す



読んだ記事をもとに、園内で「雑談」したり「研修」をしたりしてみましょう。

保育の質の
向上へ



読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーは毎月、「保育ナビ倶楽部」メールマガジン（年間購読特典）にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください！



【今月のおすすめ】
園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

園経営

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営2023 ……42

桑戸真二 堀江健

園

質を高める危機管理 ……44
生活も保育も質を向上させよう

脇貴志

人材育成

主

園のリーダーのための
リスクペクト型マネジメント
子どもを真ん中に
園づくり・まちづくり ……46

大豆生田啓友 堀昌浩

保育内容

子どもとつくる
対話でつくる
保育のすすめ ……50

子どもたちのミーティングを通して
青山誠 石上雄一朗

一人ひとりの心に寄り添い、想いをくみ取っていくために、子どもたちとのミーティングを提案します。事例をもとに、子どもたちと対話でつくる保育のポイントを探ります。

保育を深める

編集委員の
おすすめ書籍 ……58

矢藤誠慈郎

保育が変わる！

保育環境の片付け ……60

川辺尚子

Information・
『保育ナビ』読者からの声 ……62

みんなの
保護者対応！ ……65

リ

始めよう
子どもの姿ベースの
指導計画 ……66

大豆生田啓友 高嶋景子

巻末

子どもと保育を思う日々から

無藤隆

『保育ナビ』の編集委員が「保育を深める書籍」を紹介します。今月は矢藤誠慈郎先生が保育の専門性について、実践に即して考えたい方におすすめの書籍を取り上げています。

脱・一斉指導へ。 変革する小学校教育の動きから 保育の原点を考える

小学校教育は今、大きな変革期にあります。「資質・能力」「個別最適と協働」を軸に、従来の一斉指導から多様性のある学びへと変わり、それは「子どもの主体性を尊重し、育ちを見守り支える」乳幼児教育とも多くの共通点が……。子どもが主体的に参加する授業、他者の多様性を認めて協働できることが求められる背景や、変わりゆく教師の役割と評価も紹介します。

(対談は、2023年2月に、適切な感染症対策を施しながら開催しました。)

「保育ナビ」
スペシャル
対談
Special Talk

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直そうとする際のきっかけが見つかります。

写真/渡辺 悟



聞き手

三谷大紀

(みたに だいぎ)

関東学院大学教育学部こども発達学科准教授。専門は、保育学・乳幼児教育学。近年は、複数の自治体等で往還型研修の講師を担い、子どものことを「語り合う」ための工夫や体制づくりを、現場の先生方と共に探究している。著書に「語り合い」で保育が変わる(学研(共著))、「子どもの姿ベースの新しい指導計画の考え方」(フレーベル館(共著))、「子どもを「人間としてみる」ということ」(ミネルヴァ書房(共著))など。

ゲスト

奈須正裕

(なす まさひろ)

上智大学総合人間科学部教育学科教授。徳島大学教育学部小学校教員養成課程卒。東京大学大学院修了。国立教育研究所室長、立教大学教授等を経て現職。専門は教育心理学、教育方法学。中央教育審議会教育課程部会委員。主な著書に「個別最適な学びと協働的な学び」(東洋館出版社)など。目まぐるしい世の中ですが、目を回してはいけません。

特集

絵本を通して考える 幼保小接続

乳幼児期の言葉の獲得や他者とのコミュニケーション、想像する楽しさを知るためのツールである絵本。子どもたちが園で絵本を通して培った力や知識は、小学校でどのように発揮されるのでしょうか。絵本を軸にした授業を展開する小学校を取材し、そこから見てきた絵本の役割や幼保小接続のポイントを考えます。最後に、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について、無藤 隆先生に解説いただきました。(取材・座談会は2023年2月に実施)

監修／吉永安里 (國學院大學)

解説／無藤 隆 (白梅学園大学名誉教授)



円滑な幼保小接続に向けた 言葉の教育の連続性と学びの場づくり

吉永安里

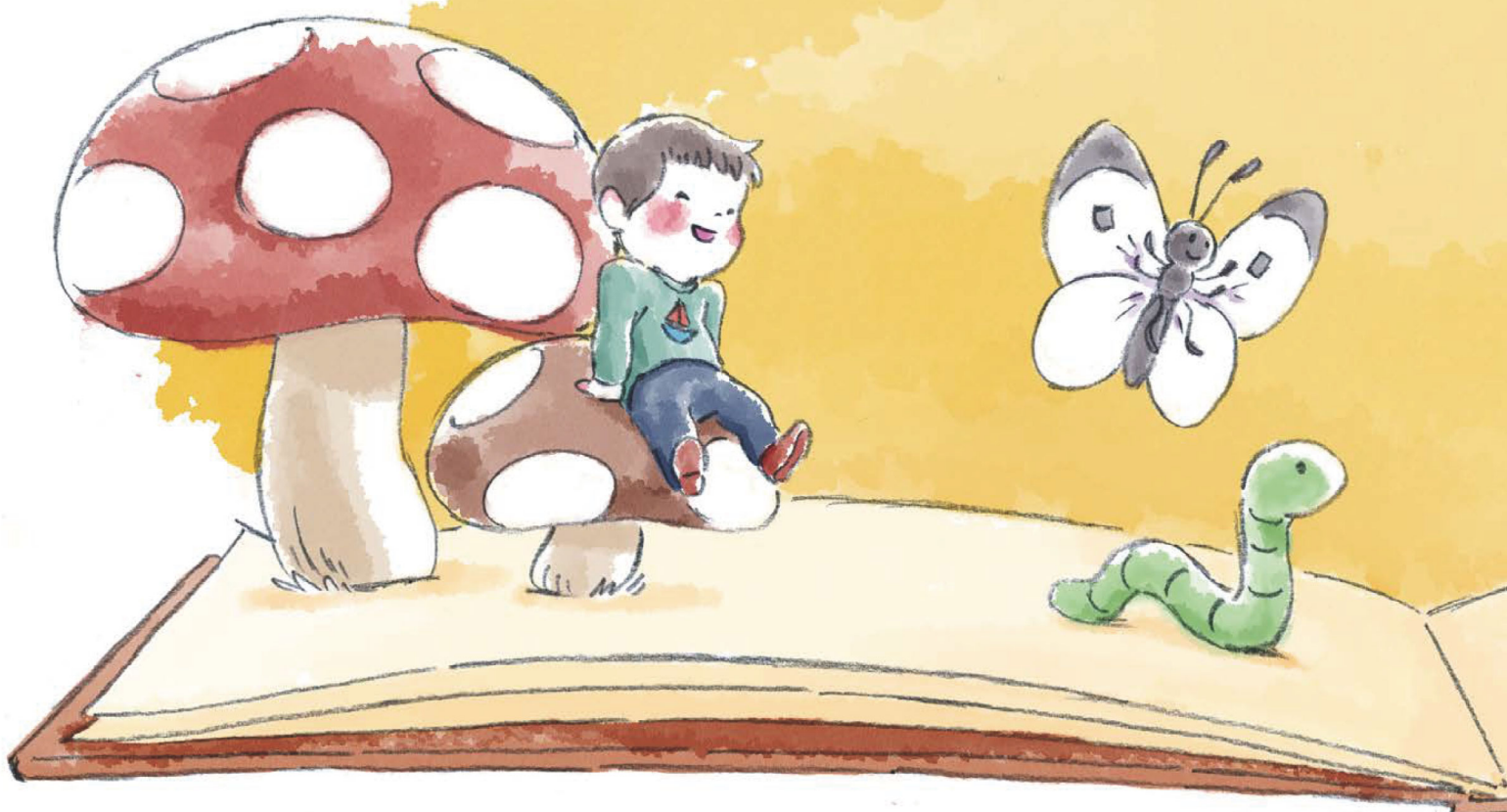


今、幼児教育の質の向上と幼保小接続の実現が求められています。質の高い幼児教育は、言葉や計算の力など、幼児期の様々な領域の発達を促し、就学後の学力やウェルビーイングのようなその後の人生の成果につながる事がわかってきているからです。

幼保小接続のためには、①発達の連続性、②教育の連続性、③構造の調整と専門性の連続性の3つの連続性が重要であり、特に教育の連続性には、保育者と教師の教育に対する見方の一致、カリキュラムの一貫性、実践の連続性の実現が大切だとされています(OECD, 2017)*。このため、保育者と教師の意見交換や

合同の研究の機会などを設け、相互の教育への理解を深めることが不可欠です。

そこで今回は、あらゆる学習の基盤となる言葉の教育の連続性について、保育者と教師が学び合う場を設けました。小学校の国語の実践に対する保育者の捉えを通して見えてくる幼児教育と小学校教育の共通点や違いには、これからの幼保小接続カリキュラムを考えるためのヒントがたくさん詰まっています。小学校の前倒しではない、乳幼児期にふさわしい生活を大切にするなかでの絵本と指導計画のあり方、そしてそれどのように小学校につないでいくかを共に考えてみましょう。



INDEX

カテゴリー別で保育をさらに深めます

国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目 2023
〈文部科学省編〉

令和4年度文部科学省
第2次補正予算のポイント

36

地域別
持続可能な園になるために 2023
特別編 編集委員会報告

保育実践に見られる
保育者の身体的・状況的専門性
— 行事に向かう保育プロセスに焦点を当てて

園経営

42

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 2023

就学前施設の虐待防止

44

“質”を高める危機管理
～生活も保育も質を向上させよう

【アセスメント】
生活の中のリスクアセスメント

人材育成

46

園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント
子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり

子どものもつ豊かさを
企業や地域へつなぐ

保育内容

50

子どもとつくる 対話でつくる 保育のすすめ
～子どもたちのミーティングを通して

「しんゆう」をめぐって

58

保育を深める
編集委員のおすすめ書籍

『保育実践へのナラティブ・
アプローチ』

60

保育が変わる！
保育環境の片付け

保育室

62

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ、
『保育ナビ』読者からの声

65

みんなの保護者対応！

Fちゃんの友だち関係に
悩むEさん

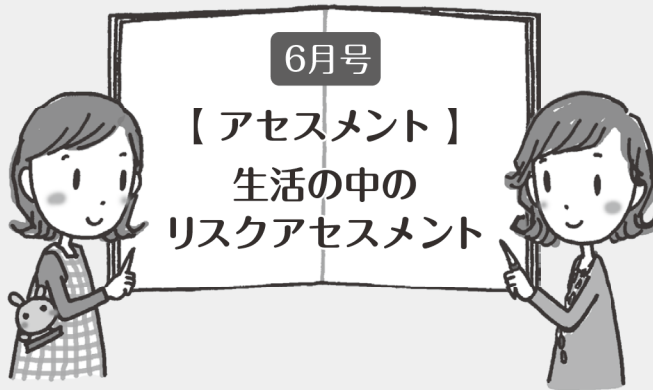
66

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画

子どもの姿から生まれる
計画を支える記録とは

“質”を高める 危機管理

～生活も保育も質を向上させよう



危機管理で重要なのは「自分ごと」にすることです。6つのテーマに基づき、危機管理のノウハウを保育者自身が自らの生活でも活用しながら、保育現場の危機管理につながるスキルを身に付けていくことを目指します。

思っていたこととのズレ(リスク)をなくすには、リスクマネジメントのノウハウが有効です。



執筆 脇 貴志
(株式会社アイギス)

1 解説

まなぼう!



【アセスメント】とは、「評価」「査定」という意味として使われています。

そもそも危機を管理する前に管理する対象の特徴や大きさがわからないと、管理方法や準備にどのくらい時間や費用がかかるのかわからず、具体的に取り組むことができません。そのため、対象となるリスクを

よりよく知るためのアセスメントが必要になるのです。

日常生活の中にもリスクはあふれています。それは、環境よりも多く存在していると言っても過言ではないでしょう。ということは、リスクアセスメントの対象になるものもたくさん存在します。

ここでは、衣食住の「衣」を例に出して考えてみましょう。衣料では、デザインなどに凝る前に、機性能が優先されます。冬の北海道に旅行に行く場合に、

2 活用例

やってみよう!



1. 目的を決める

自分の人生の目的を決めましょう。「なんのために生きたいのか」という壮大なテーマになりますが、変えることはいつでもできるので、考えてみてください。目的が決まれば、優先順

どのくらいの防寒機能が必要かを考えて洋服を選ばないと、風邪をひいたりして楽しい旅行が台無しになる可能性が出てきます。そこで、旅行先の寒さをアセスメントすることで、条件に合った洋服を選ぶことができます。

それを決めた後に、流行やデザインや価格を検討していくことで、正しくリスクを管理することができますようになります。

位が決まります。それがリスクアセスメントした後の方向性を決定づける軸になります。

2. 対象を決める

生活の中でリスクアセスメントしたい対象を決めてください。衣食住だけでなく、仕事、家族、老後生活などたくさんあると思いますが、とりあえず、1つずつやってみましょう。どれも考え方は同じです。

3. 計画を立てる

目的、対象を決めたら、アセスメントしてみましょう。ここでは、仕事を対象にして考えてみましょう。

- ① どのような業務内容なのか。
- ② 勤務場所はどこなのか。
- ③ 拘束時間はどのくらいか。

④ 仕事の成果として求められるものは、何がどのくらいあるのか。

⑤ 賃金はいくらくらいなのか。

これら5つの面でアセスメントしてみたら、それぞれの仕事に客観的に見えてくるのではないのでしょうか。もちろん賃金の高い仕事は、拘束時間が長い、営業ノルマなどが多いかでしょう。最近では、「勤務場所は自宅以外いやだ」（リモート業務のみ希望）という方もいらっしゃいます。業務内容も人と接する仕事よりも、機械やシステムを相手にする仕事がいいという方もいらっしゃると思います。つまり、アセスメントした結果を自分の優先順位（価値観）によってさらに精査していくことで、自分が求めている仕事に就けるといいう理屈です。

3 3とめ ～検証～

自分ごと!



人生には「思っていたことと違った」ということがあります。むしろ、そればかりなのかもしれません。そういったことを少しでもなくしていくために事前調整するノウハウが、リスクアセスメントです。目の前にある対象をアセスメントすることによって、なるべく自分が思っていたこととのズレ（リスク）がないようにすることが出来ます。

最近では、「人生100年時代」の到来と同時に、「不確実な時代」到来とも言われています。いくらリスクアセスメントをしたとしても裏切られることがあるような時代なのかもしれません。

でも、だれかが言っていることやネットに書かれていること

を鵜呑みにして、「こんなはずじゃなかったのに」となるよりも、自分であらゆるものをアセスメントした結果として裏切られるのなら、「私のアセスメントもまだまだ甘いな」と考え直すこともできます。そこからアセスメント力をブラッシュアップして、次のステージに向かったほうが実り多いのではないのでしょうか。

まずは、何かのリスクをアセスメントしてみてください。

全12回のテーマ(予定)

4月号	【計画性】	生活の中の計画性
5月号		保育の中の計画性
6月号	【アセスメント】	生活の中のリスクアセスメント
7月号		保育の中のリスクアセスメント
8月号	【投資】	生活の中の投資
9月号		保育現場で働くうえでの自己投資
10月号	【不確実性】	生活の中の不確実性
11月号		保育の中の不確実性
12月号	【リスクテイク】	人生のリスクテイク
1月号		保育におけるリスクテイク
2月号	【バイアス】	生活の中のバイアス
3月号		保育の中のバイアス

*より良い企画にするために変更になる場合があります。

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも
保育情報を配信しています。

『保育ナビ』
の
情報をもっと!

『保育ナビ』の公式サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』の公式 Facebook

<https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ



メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

<https://www.hoiku-navigation.com/news/naviclub2023/>



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン「保育ナビ倶楽部」(登録無料)。保育に役立つ情報をタイムリーにお届けします。

- ①園経営から保育エッセイまで、保育に役立つ情報を配信
- ②『保育ナビ』と連動した解説動画のお届け
- ③『保育ナビ』最新記事情報
- ④保育オンラインセミナー・商品情報

保育ナビ

「保育ナビ」読者からの声

「保育ナビ倶楽部」の会員の皆さんから届いた、エピソードを紹介します。今回のテーマは、「恩師からもらった心に残る言葉」です。

読者の皆さんのエピソードをお待ちしています！

「保育ナビ倶楽部」に登録する（詳細は右ページ）か、保育ナビ公式サイトのお知らせ欄をご確認ください。



恩師の言葉に励まされ、日々奮闘

大学時代の恩師に、「あなたの強みは、四の五の言わず、損得考えず、自分のできることはどんなことでもこなして最後までやりきることだ。それが周りの人のためになっている」と、卒業して5年ほど経った同窓会の際に私の横でつぶやかれたことが、ずっと心に残っていて、心の支えにもなっています。

年々、同時進行でこなさないといけないことや新たな仕事が増えていきますが、それが、子どもたちや保護者の幸せのため、園運営のためにつながり、自分の強みが少しは役に立っているかな……と、今は亡き恩師の言葉に励まされながら、日々奮闘しています。

(奈良教育大学附属幼稚園 養護教諭 清水智佳子)

フレーベル館主催セミナー

フレーベル館 2023年6月開催 保育オンラインセミナー

幼稚園・保育所・認定こども園の保育者様を対象としたLIVE オンラインセミナーをご紹介します。

乳児の生活と遊び ～育ちを支える環境・かかわり～

乳児保育の実践や子どもの姿を、幼児教育において育みたい資質・能力の3つの柱の視点から考えていきます。0歳児の保育から、そのような視点を大事に考えてかかわっていくことが、その後の子どもの育ちを保障していくことにつながっていきます。子どもの育ちを支える環境や、保育者としてのかかわり方など、わかりやすい実践事例をもとにお話ししていきます。

LIVE 開催日時：6月23日（金）13:15～14:30

収録配信：7月7日（金）～20日（木）予定

価格：個人申し込み 5,500円（税込）

園申し込み 22,000円（税込）

講師：和田美香先生

（東京家政学院大学准教授）



子どもの育ちと「食」について考える ～発達・かかわり・食育・連携～

子どもの育ちにとって、「食」は大切な要素のひとつです。子どもの発達と食の関係、食事場面での援助やサポート、食事場面で配慮したいポイント、食育で大切にしたいこと、職員間や家庭との連携についても、お話ししていきます。

LIVE 開催日時：6月29日（木）13:15～14:30

収録配信：7月13日（木）～7月26日（水）予定

価格：個人申し込み 5,500円（税込）

園申し込み 22,000円（税込）

講師：小野友紀先生

（大妻女子大学短期大学部准教授）



※LIVE 配信はウェブ会議サービス Zoom によるオンラインセミナーです（収録配信は動画共有サイト Vimeo を使用します）

※配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性があります。最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。

（右の二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館 セミナー」で検索してください）



【問い合わせ先】株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール：seminar@froebel-kan.co.jp 電話：03-5395-6637



回答者
ミナ先生
(保育園・主任/保育歴13年)

にっちもさっちもいかない
状況でも、諦めず、
丁寧に保育し続けることが大事。

第3回 Fちゃんの友だち関係に
悩むEさん

保護者対応!

正解が一つとは限らないだけに難しいのが「保護者対応」。普段はあまり目にする機会がない他園の保護者対応の様子を紹介します。

Eさんの特徴

- ・子どもは4人。Fちゃんは4人きょうだいの3番目。
- ・気が強く、思ったことがあればどんなことでも電話をしてくる。
- ・白黒きっちり、はっきりさせたいタイプ。
- ・思いが強く、自分の子どものことしか見えていないよう。
- ・元々、保育者をしていた。
- ・夫を通じて電話で思いを伝えてくることも。



エピソード

年少時、クラスも園バスのバス停も一緒のFちゃんとGちゃんは、女の子同士、とても仲良くでしたが、次第にGちゃんがほかの友だちと仲良くなりFちゃんから離れていきました。Gちゃんと仲良くしたいFちゃんは、その思いを母親に激しくぶつけます。EさんはFちゃんを思い、Gちゃんの母親にFちゃんの思いを伝えたこともあったそうです。

その思いが解消されないままFちゃんは年長になります。2人はクラスが分かれますが、FちゃんのGちゃんへの思いは強いまま。年長時、担任であった私は、いろいろな友だちとかかわる楽しさをFちゃんに味わってほしくて、あらゆる方法を試しますが、Fちゃんの気持ちは動きません。そして毎日Eさんから電話が入りGちゃんとの関係を相談されます。

そこでEさんの視点を変えようと、Fちゃんの新たな人間関係など今の姿を伝えるようにしましたが、EさんからGちゃんの母親と話し合いの場を設けてほしいとの申し出が。その時は、Gちゃんの母親から要望がない以上それは難しいと園長とも相談し、お断りしました。父親からも電話が入るようになり、私も打つ手がなくなりつつありましたが、保育中に気付いたFちゃんの良いところはEさんに伝え続けました。その後ようやく、Gちゃんの話は減っていきます。いつしか私とEさんは、Fちゃんを応援する仲間のような関係になり、助言も聞いてくれるようになりました。

そして、卒園間近の3月。クラスで友だちのいちばん良いところを伝え合う時間をもちました。そこでみんなから「Fちゃんはやさしい!」と言われます。Fちゃんは静かにうなずいていました。その1週間後、卒園式を迎えました。

年度末の園内の振り返りの会議で、私はFちゃん親子とのことを報告しました。「あの対応で本当によかったのか、今もわからない」。同僚からは「ああするしかなかった」との声が。するとその数日後、Fちゃんの母親から「ご挨拶したい」と電話が入ったのです。もう、不安しかありませんでした。

しかし意外にも、母親から出てきたのは御礼の言葉でした。卒園間近、友だちの良いところを伝え合った日、家に帰ってきたFちゃんに「Fってやさしいと思う?」と聞かれ、「はっ」としたのだそうです。Gちゃんとの一件もあり、Fちゃんの頑固さや気性の荒さにばかり気をとられ、本当の良さを見逃がしていた。「Fに対する見方がすべて変わった」と言われました。思いがけない形で胸のつかえがとれたように感じました。

